

# あなたの力を!

## 子どもとかかわり、見守り、支え、応援する学校支援ボランティア

### Q2 どうすれば学校支援ボランティアができるのですか

学校支援ボランティアは、各学校によってさまざまな取り組みをしています。特に、総合的な学習の時間の内容は学校によって異なりますので、ゲストティーチャーも各学校によって違います。

#### 学校支援ボランティアをするには

- 学校ごとに対応しますので、ボランティアをしたい学校のコーディネーターあるいは副校長に問い合わせてください。
- どの学校でやればよいのか迷うときは、小平市教育委員会生涯学習推進課 ☎042(346)9834にお尋ねください。
- 学生ボランティアの登録は、小平市教育委員会指導課管理係 ☎042(346)9572に提出ください。申込み用紙はホームページからダウンロードできます。

### Q3 学校支援ボランティアをするときに気をつけなければいけないことはどんなことですか

一般的な社会人としてのマナーを守っていただければ十分ですが、学校は教育の場です。子どもへの影響を考えていただき、次のマナーを守っていただくようよろしくお願いします。

#### 守っていただきたいこと

- 1 約束の日時を守りましょう。変更する時は、事前に副校長に電話をしてください。
- 2 子どもたちのプライバシーや秘密を厳守しましょう。また、互いの個人情報をむやみに教えないようにしましょう。
- 3 子どもたちを見守る立場で接しましょう。もちろん、悪いことはきちんとしかってください。しかし、体罰は禁止です。力ずくで押さえることは教育ではありません。
- 4 服装は自由ですが、清潔で常識的な範囲を守りましょう。肌の露出や香水などは、控えるようにしてください。
- 5 上履きを持参しましょう。
- 6 来校者名簿に記入をして、名札をつけてください。
- 7 わからないことは、担当の学校職員に遠慮なくお尋ねください。

### Q1 どのような学校支援ボランティアに、どのような人が関わっているのですか

次の表は平成16年度、小平市立小・中学校に学校支援ボランティアとしてかかわってくださった延べ人数です。

(単位：人)

内容の種別 延人数	授業支援など				介助	図書指導など		安全	その他	合計
	教科・総合的な学習の時間	クラブ活動・部活動	遠足・校外学習	教育相談・放課後学習支援など	児童・生徒の介助	本の読み聞かせ・読書指導	図書の修理・貸出・図書室の整備など	見守りパトロール公開週間の巡回等	ふれあい・環境整備・ピクトボードなど	
学生	2,027	177	14	89	175	32	56	0	113	2,683
社会人	5,494	847	408	1,287	428	4,642	2,669	9,061	3,901	28,737
合計	7,521	1,024	422	1,376	603	4,674	2,725	9,061	4,014	31,420

延べ31,420人の方が子どもたちのために力を貸してくださいました。延べ時間は46,723時間にもなります。平成17年度はこれを上回るご協力をいただいています。

社会人は、主に退職をされた方々ですが、時には企業の一線で働いている会社員の方が子どもたちの学習にかかわってくださることもあります。

#### 学校支援ボランティアとは

- 資格は要りません。
- 子どもたちを温かく見守ってくださる気持ちが一番です。
- 今までの経験や趣味を生かすこともできます。

#### 社会人ボランティアの声

☆教室に畳を敷いて、子どもたちと地域の人、みんなが来られる場所ができてうれしい。みんなが手伝いに来てくれて楽しかったね。

☆算数の時間に学習支援に来ています。今年で丸3年になりますが、楽しいですよ。この間は本気で怒ってしまったけど、たまにはいいでしょ。



#### 学生ボランティアの声

☆教師志望なので、毎回勉強になることばかりで、貴重な体験をさせていただいています。ありがとうございます。

☆学校の先生・地域の方々・学生ボランティアの仲間から、教育に関するさまざまな意見を聞くことができ、とてもうれしいです。



#### 学生ボランティアの声

☆部活動を通して中学生と接することができ、自分にとってもプラスになることが多くありました。子どもを指導することについて、もっと勉強していきたいと思っています。

☆小学生がこんなにかわいいとは思いませんでした。あらためて教師になりたいと思いました。

#### 社会人ボランティアの声

☆学校図書のバーコード入力はいへんな作業でした。図書館の方の丁寧な指導の下に、先生方も一緒に取り組んで、無事終わりました。貸出や管理が楽になりますね。

☆よさこいは、子どもと一緒に同じことができるのでとても楽しいです。地域の方もいろいろな方が参加できて和気あいあいです。



### Q4 学校支援ボランティアの活動中に事故があったらと心配ですが

- 小平市で加入している市民総合災害補償保険で対応します。
- また、ご自身で社会福祉協議会で扱っている「ボランティア保険」(年会費500円)に加入されている方もいます。



小平市教育委員会 坂井 康宣

### 家庭・地域との連携を進める こだいらの学校創り

子どもたち一人一人の個性を尊重し、みずから学び、みずから考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育むために各学校が創意工夫を生かし、「特色ある教育」《特色ある学校づくり》を進めることができるようになりました。学校と家庭・地域社会が一緒になって子どもの健やかな成長を願い、取り組んでいくことが、教育改革実現のキーポイントとなります。「21世紀の教育」の教育改革アクションプランの下、「学校経営協力者およびその会議」の設置、外部評価制度の導入や市立小・中学校全校の毎学期1回の「市内一斉学校公開週間」を設け、年度初めの学校説明会、年度末の教育実践報告会など、いっせいの理解と支援、参画を得られるよう具体化してきました。

「市内一斉学校公開週間」が定着し、平成16年度は6万1千4百74人の保護者・市民の皆さんに学校を訪問していただき、子どもたちの学習活動や遊びの様子など、学校生活の日常的な姿をご覧いただきました。子どもたちの興味・関心に応じた、また、個性の伸張を図る教育活動の充実・発展には、多彩で多様な人材の確保の観点から「学校支援ボランティア」の導入を図っていくことが必要です。この「市内一斉学校公開週間」を通して子どもたちや学校の様子を知っていただくことができ、また、学校支援ボランティアとして、「学生ボランティア」「社会人ボランティア」合わせて、延べ3万1千4百20人を越える皆さんの多彩で多様な子どもたちとの触れ合いと、教科などの学習活動の支援をいただいています。ボランティアコーディネーターの創造的な活動も生まれてきました。地域といっしょに学校の特色や教育活動を共に創り上げる努力をしていくことで、地域に根づいた特色ある教育活動に育ち、学校の伝統に育っていくと確信しています。これからは、保護者の願いや地域の声を生かしたコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を目指し、地域運営型の学校創りに向け、学校と保護者、地域、教育行政が一体となって取り組んで参ります。